

工業用水道及び水道工事共通仕様書別冊

令和3年3月

静岡県企業局

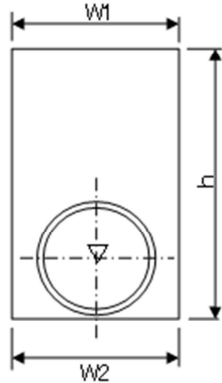
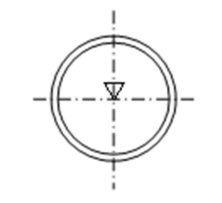
工業用水道及び水道工事施工管理基準

1 適用

- (1) この施工管理基準は、静岡県企業局の施行する工業用水道及び水道工事の施工に適用する。また、工事の種類、規模、施工条件等により、この管理基準によりがたい場合は監督員と協議のうえ施工管理を行うものとする。
- (2) この施工管理基準に記載されていない事項については、土木工事施工管理基準によるものとする。

2 出来形管理基準及び規格値

管布設工及び推進工については、以下のとおりとする。

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
管布設工	基準高	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものについては1施工箇所につき2箇所			
	中心線の変位（水平）	±50				
	幅 W1, W2	-50				
	高さ h	-30				
	延長	L<10m	-20	1施工箇所毎		
		10m ≤ L < 100m	-50			
総延長	L ≥ 100m	-100				
推進工	基準高	±50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものについては1施工箇所につき2箇所			
	中心線の変位（水平）	±50				
	延長	L<10m	-20			1施工箇所毎
		10m ≤ L < 100m	-50			
	総延長	L ≥ 100m	-100			

※基準高は管径を考慮して、設計値を管頂で管理しても良い。

3 品質管理基準及び規格値

管布設工及び推進工については、以下のとおりとする。

ダクタイトル鉄管の継手は日本ダクタイトル鉄管協会規格（JDPA）の最新のチェックシートを用いて適切に管理すること。

工種	試験項目	試験方法	規格値	適用
不断水工	水圧試験	テストポンプによる試験	5分保持後、漏水が無いこと	
管溶接工	放射線透過試験	JIS Z 3104 JIS Z 3050 φ800mm以上：内部線源撮影法 φ800mm未満：二重壁片面撮影法	設計図書による	
	超音波探傷検査	JIS Z 3050 JIS Z 3060	設計図書による	

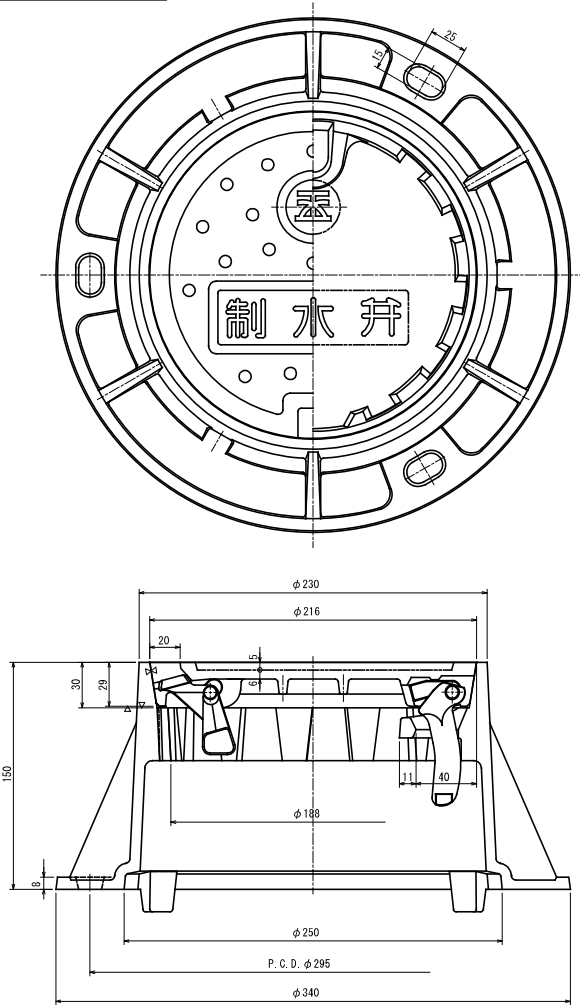
舗装	工種	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	適用
路床、路体	路床	現場密度の測定 右記試験方法（3種類）のいずれかを実施する。	最大粒径 ≤ 53mm： 砂置換法（JIS A 1214）	次の密度への締固めが可能な範囲の含水比において、最大乾燥密度の95%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B法）もしくは90%以上（締固め試験（JIS A 1210）C・D法）。 ・路体：次の密度への締固めが可能な範囲の含水比において、最大乾燥密度の90%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B法）。	路床：500m ³ につき1回の割合で行う。ただし、1,500m ³ 未満の工事は1工事当たり3回以上。 路体：1,000m ³ につき1回の割合で行う。 ※1回の試験につき3孔で測定し、3孔の最低値で判定を行う。	
	路体		最大粒径 > 53mm： 舗装調査・試験法便覧 [4]-185			
	砂	なし	なし	なし	なし	

4 写真管理基準

管布設工及び推進工については、以下のとおりとする。

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	備考
品質管理	管布設工	铸铁管接合工	接合状況	測定中	継手形式及び呼び経毎に1箇所	
		铸铁管接合工	トルクチェック	測定後		
		ライナ設置工	施工状況	施工中		
		切管加工（挿し口加工含む）	仕上り状況	加工後		
		不断水工	水圧試験	試験実施中	実施箇所毎	
出来形	土工事	試掘工	（埋設物状況） 離隔、土被り、呼び経、 管理者名 （埋設状況） 幅、深さ、延長	掘削完了後	施工箇所毎	

φ 250鉄蓋 (参考図)



水道

工水



空気弁

空気弁

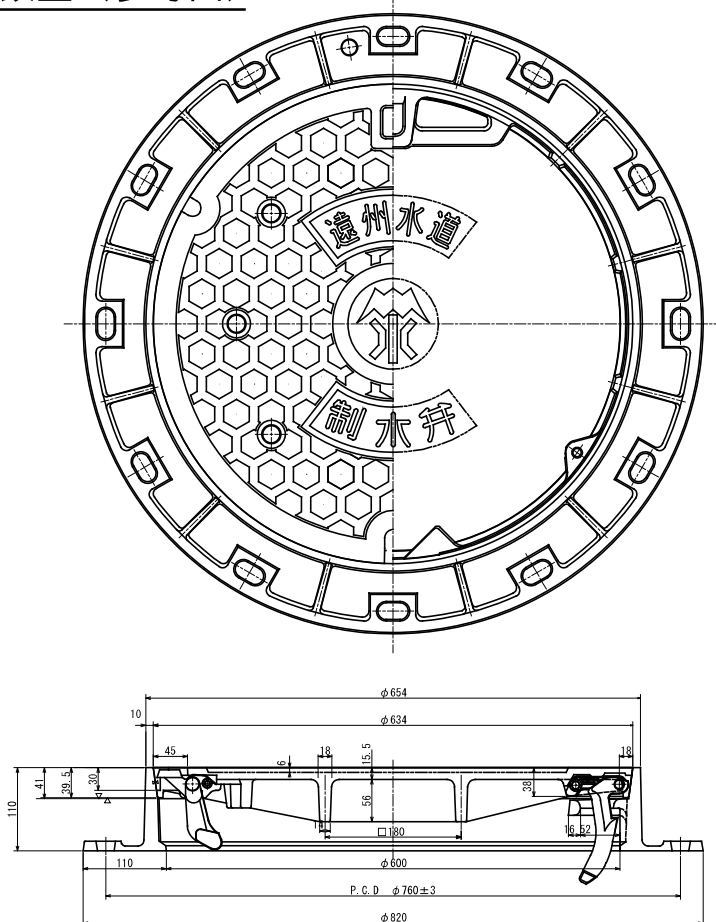
排水弁

排水弁

制水弁

制水弁

φ 600鉄蓋 (参考図)



駿豆水道

樺南水道

遠州水道



空気弁

排水弁

制水弁

水道

柿田川工水

富士川工水

東駿工水

静岡工水

中遠工水

西遠工水

湖西工水



空気弁

排水弁

制水弁

工水